

令和8年度

運営に関する計画

大阪市立東淡路小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

昨年度結果より

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は81.5%で、90%以上に届かず目標未達であった。

・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的な「思う」と回答する児童の割合は前年度(96.6%)以上(96.9%)となり目標は達成した。

・目標に届かない項目もあったが、目標値との差は大きくなかった。日々の声掛けやアンケート実施、そしてその結果を引き続き生活指導に生かしていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比の、同一母集団において経年的な比較は、4・5年生で上回ったものの、6年生は昨年度と同じ結果で目標未達であった。

・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比の、同一母集団において経年的な比較は、4年生で上回ったものの、5・6年生で昨年度より下回ったので目標未達であった。

・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を前年度(69.0%)より減少(61.6%)し、目標未達であった。

・目標に届かない項目もあったが、目標値との差は大きくなかった。前年度の結果を分析し、全体的に弱いところを振り返りプリントなどを使って上げていく。また、運動面については校内工事中ということもあり運動場の使用が限られるが、児童会活動や委員会活動を通じた工夫を取り入れることで改善を図っていく。

【学びを支える教育環境の充実】

・授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数は、年間授業日の36.2%で、50%以上に届かず目標未達であった。

・第2期「学校における働き方改革推進プラン」に掲げた、教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を前年度(89.3%)以上(96.15%)となり目標は達成した。

・年度末の学校アンケート(保護者対象)で、「学校は、教室や運動場などの環境を整備するよう努めている」への肯定的な回答は91.0%で、90%以上となり目標は達成した。

・目標に届かない項目もあった。学習者用端末の活用に関しては、年度の後半部分は50%を超えるようになってきたので、次年度以降も続けていく。超過勤務時間の削減、環境の整備に関しては、目標達成しているので引き続き取り組んでいく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、全国平均以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査におけるボリュームゾーンにあたる層の変化率を国語、算数ともに1%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合を全国水準にする。
- 令和11年度の全国体力、運動能力・運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を全国平均以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.3%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.8%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
(1ポイント=0.01)
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
(1ポイント=0.01)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.4%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を66.2%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。
- 年度末の学校アンケート(保護者対象)で、「学校は、教室や運動場などの環境を整備するよう努めている」への肯定的な回答を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立東淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.3%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.8%以上にする。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を職員全体で共有し、集団指導体制の充実を図る。 ・いじめの早期発見・解消のために、いじめに関する年間計画(いじめについて考える日・いじめアンケートなど)を作成し、計画に従い実践する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後に毎回「児童理解連絡会」を開き、課題のある児童や配慮を要する児童の情報や、対応済みの事案についても共有し、改善に努める。 ・いじめアンケートを学期ごとに年3回実施し、認知したいじめ事案については100%拾い上げ、解決を目指す。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班の編成をし、活動の活性化を図る。 ・きょうだい学年や異学年での活動を意図的に取り入れ、異学年交流をすすめることで児童の自己肯定感向上をめざす。 ・福祉学習を行い、思いやりをそだてるとともに、様々な人の生き方に学ぶ。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班活動(朝の集会、全校遠足、スポーツ集会)を年間10回以上実施する。 ・他学年との交流を含めた学習を各学年とも年1回以上行う。 ・児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(79.7%)以上にする。 ・4年で車いす、5年で盲導犬、アイマスクに関する福祉体験学習を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立東淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(1ポイント=0.01) ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(1ポイント=0.01) ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.4%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語力の基礎となる漢字の習得のため、2学期に校内漢字検定、3学期に1～4年生は校内漢字検定、5・6年生は日本漢字能力検定を実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年で習う新出漢字を2学期までに終わらせるように計画し、3学期は問題演習に取り組み、合格者の割合を50%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人が参加し、主体的で対話的、深い学びのできる授業を工夫する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度「ひがあわタイム」を設置し、全教員で放課後補充学習を行う。 ・全員参加型の研究授業・研究討議会を年3回実施する。またその他の研究授業や校内研修を充実させていく。 ・児童アンケートにおける「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(76.8%)以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかなる体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業間なわとびの日程や内容を工夫して実施する。 ・児童の運動意欲を高められるような企画を計画して実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業間なわとびを実施する。 ・運動委員会を中心に、児童の運動意欲を高められるような企画を計画し、年2回以上実施する。 ・児童アンケートにおける「体を動かすことが好きだ。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(82.6%)以上にする。 	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立東淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を66.2%以上にする。 ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。 ・年度末の学校アンケート(保護者対象)で、「学校は、教室や運動場などの環境を整備するよう努めている」への肯定的な回答を90%以上にする。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味・関心を高めるために、一人一台端末を積極的に活用していく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校活動の中でほぼ毎日、一人一台端末などのICT機器を効果的に活用する。 ・児童アンケートにおける「パソコンを学校の中で、ほぼ毎日使っている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(81.9%)以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を含めた教育課程や会議等の精選を図るとともに持ち方を工夫する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議の資料を3日以上前にデータで配布する。 ・通知表の芸能教科等の1学期の評定を、2学期とまとめる。 ・家庭訪問の代わりに個人懇談を行い、学級懇談会との選択制にする。 ・出欠連絡と手紙の配布にリーバーやミマモルメといったアプリを活用する。 	
<p>取組内容③【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備委員会を計画的に行い、配慮を要する児童に対応した設備など、安全・清潔で効果的な学習環境を整える。 ・学校ホームページを活用し、保護者や地域に向けて学校や子どもたちの様子を積極的に発信していく。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備委員会を年2回以上行い、環境整備に関する課題を共有化する。 ・平均月15回以上のホームページ更新を行い、学校の様子を発信していく。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	